

第41回 鳥取しゃんしゃん祭

8月16日(火)



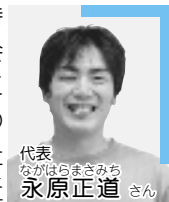
夏だ。元気だ。 しゃんしゃん祭!

鳥取の夏を彩る「しゃんしゃん祭」の季節がやってきました。「シャーン、シャーン、シャーン」と鈴の音が街中に鳴り響き、金銀の短冊をつけた色鮮やかな傘の花が一齐に咲きます。そして、思い思いの衣装を身につけた3500人の踊り子のみなさんが、今年も元気いっぱいに踊ります。さあ、家族で、友だち同士で、仲間で、みんなで、出かけましょう!

初参加の みなさんの 声

71の参加連のうち、今年初めて参加される連は13連です。その中から3連のみなさんにお話を伺いました。ご紹介します。

鳥取市社会福祉協議会



代表 ながはらまさみち 永原正道 さん

市町村合併と同時に9市町村の社会福祉協議会も一つになりました。市民のみなさんに社会福祉協議会をもっと身近に感じてもらおうと、職員の中から希望者を募り、有志で参加することになりました。職場も別々で、普段は顔を合わせる事が少ないので、職員同士の交流を深めることも参加する目的の一つです。踊りに参加しない人も、衣装作りの資金カンパ集めや、当日のお手伝いなど、みんなの気持ちは一つ。チームワークのよさはピカイチです。元気いっぱいの踊りで祭を盛り上げます!

鳥大しゃんしゃん踊り隊



代表 たにあやか 谷口あやか さん

学部気の合う仲間が集まって参加します。1年のときに「鳥大体専しゃんしゃん部」のみなさんの踊りを見て、私たちが参加したいなとずっと思っていました。体育の授業でしゃんしゃん傘踊りの創作ダンスを踊ったことがきっかけで、友だちがそのまた友だちを誘ってというふうに、輪が広がって参加できることに。県外出身者も半分くらいはいます。若さあふれる、しかも華麗な踊りをめざしています。衣装のバックには「鳥大」をもじって「跳梨〇〇」とプリントする予定。現在、「〇〇」の部分を考案中です。

用瀬だら~ず



代表 おさきかずなり 尾崎一也 さん

10年以上前から用瀬町連合青年団として参加していましたが、今年の3月で青年団は解散。でもやっぱり踊りたいという有志が友だちを誘い合って「用瀬だら~ず」という名前です。踊り終わった後の疲労感からくる達成感がなんともいえませんね。「やったー!!!」という感じ。「♪きなんせきなんせ用瀬に♪」とかけ声をかけながらノリノリで踊ります!